

高等学校 令和8年度（1年次用）教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 年次 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：柿原）（B組：岩崎）（C組：岩崎）（D組：柿原）（E組：柿原）（F組：岩崎）

使用教科書：（第一学習社「現代の国語」（現国183））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
第一 学期	考えを組み立てる—自己と他者 「何も知らない（私）を知ること」 「本当の自分」幻想 スピーチで自分を伝える 【知識及び技能】漢字、語彙、文や文章 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握、精査・解釈 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 具体例と筆者の主張との関係を捉え、読書や学問についての筆者の考えを自身に引き付けて考える。 2 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 3 自分の意見が大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 4 他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。	○	○	○	【知識及び技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	6
	効果的に伝える 話し方の基礎レッスン 相手に伝わる案内をする 心を動かすプレゼンテーションを行う（参考：羅生門） 【知識及び技能】語彙 【思考力、判断力、表現力等】構成の検討、考えの形成 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 2 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 3 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 4 目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 5 相手や場の状況に応じた案内ができるようになる。 6 相手の心に訴えかけるプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。	○	○	○	【知識及び技能】情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	○	○	○	8
	定期考査1						○	○		1
	論理の展開を捉える 【対比】「間」の感覚 【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える 【事実と意見】「私作り」とプライバシー 【知識及び技能】文や文章 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握、精査・解釈 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 論理の型として、「対比」の関係を学ぶ。 2 論理の型として、「具体と抽象」の関係を学ぶ。 3 論理の型として、「事実と意見」の関係を学ぶ。	○	○		【知識及び技能】本文中に登場する文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	6
	情報を集める一言葉と文化 水の東西 生活実態を報告するレポートを書くものことば 【知識及び技能】漢字、語彙、文や文章、表現の技法 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握、精査・解釈 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 2 相手と目的に応じた報告分のあり方を理解する。 3 目的に沿った調査の方法を理解し、実践する。 4 レポートの書き方を理解して実践し、評価する。 5 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して文章の論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	○	○		【知識及び技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方、例示などの修辞について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査2						○	○		1
	情報を活用する—科学技術とメディア 人工知能に未来を託せますか？ 現代の「世論操作」 【知識及び技能】情報の整理 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握、精査・解釈 【主体的に学習に取り組む態度】協調性	1 AIと対比して説明されている人間の性質を捉え、科学技術の進歩と人間の役割について考察する。 2 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。	○	○		【知識及び技能】情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
第二 学期	相手を説得する 書き方の基礎レッスン 身近な製品の取り扱い説明書を作成する 説得力のある紹介文を書く 【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える 【対比】「間」の感覚 【知識及び技能】話し言葉と書き言葉 【思考力、判断力、表現力等】構成の検討、考えの形成 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 表記・表現の基本ルールを理解する。 2 接続表現の種類や用法を理解する。 3 比喩などの表現技法を理解する。 4 情報を的確に説明する方法を理解する。 5 情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 6 わかりやすい説明を実践できるようになる。 7 情報を的確に紹介する方法を理解する。 8 必要な情報や資料を収集・整理し、論理的で説得力のある紹介文を書くために活用する方法を理解する。		○		【知識及び技能】 書き言葉の特徴、表現の特色を踏まえ、分かりやすさなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。		○	○	6
	定期考査3						○	○		1
	根拠を示して主張する 【主張と根拠】デザインの本意 【主張と反論】「動機の話彙論」という視点 【推論】コンピューターが作る俳句 【知識及び技能】文や文章 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 論理の型として、「主張と根拠」の関係を学ぶ。 2 論理の型として、「主張と反論」の関係を学ぶ。 3 論理の型として、「推論」の構造を学ぶ。		○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、一般論に反論することで主張を際立たせる手法を用いた論の展開を把握し、人間の行為の動機がいつの時点で発生し、どのような表現を用いて語られるのかを考察した文章を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを伝えようとする評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。		○	○	8
	主張を把握する一身体と時間 〈鏡〉という現象一装いとは何か 不均等な時間 【知識及び技能】漢字、語彙、文や文章 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握 【主体的に学習に取り組む態度】継続性	1 比喩や言い換えを用いた論の展開を把握し、理解した内容をわかりやすく説明する。 2 具体的事例から一般論への展開と、対比の構造と手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。		○	○	【知識及び技能】 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、体的事例から一般論への展開と、対比の構造と手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対比による推論を、叙述を基に理解し、学習課題に従って粘り強く要旨をまとめようとしている。		○	○	6
	定期考査4						○	○		1
第三 学期	主張を吟味する一経済社会と人間 岩井克人が語る「無」から「有」を生む貨幣 ロビンソンの人間と自然 フェアな競争 社会に対する意見文を書く 【知識及び技能】言葉の響き、話し言葉と書き言葉 【思考力、判断力、表現力等】構成の検討、考えの形成 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 具体例を提示しながら解説していく論の展開を捉え、貨幣のさまざまなあり方を考える。 2 「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 3 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 4 意見文とはどういうものかを理解する。 5 自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 6 意見文の書き方を理解して実践し、評価する。		○	○	【知識及び技能】 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。		○	○	6
	主張を比較する 「環境」には「私」がいない 「文化」としての科学 生と死が創るもの 【知識及び技能】漢字、語彙、文や文章 【思考力、判断力、表現力等】構造と内容の把握、精査・解釈 【主体的に学習に取り組む態度】積極性	1 対比を用いた論の関係を把握し、環境問題に対する筆者の主張を自身に引き付けて考える。 2 現状における科学と技術の関係を、筆者が主張する両者の違いに基づいて整理し、理解する。 3 三つのまとまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。		○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、現状における科学と技術の関係を、筆者が主張する両者の違いに基づいて整理し、理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 接続の仕方に注意して粘り強く文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。		○	○	6
	定期考査5						○	○		1
	合意を形成する一現代社会の課題 〈私〉時代のデモクラシー リスクを考える一「みんなで決める」はなぜ重要か 意見をまとめる話し合いをする 【知識及び技能】話し言葉と書き言葉 【思考力、判断力、表現力等】話し合いの進め方の検討 【主体的に学習に取り組む態度】他者への配慮、協調性	1 現代社会のデモクラシーが抱える課題について理解し、具体的な問題に当てはめて考える。 2 合意形成について、現在の問題点を捉え、その意義と具体的な手法を理解して活用する。 3 話し合いの進め方のルールを理解する。 4 論点を共有し、考えを広げたり、深めたりしながら、話し合いを実践する。	○	○	○	【知識及び技能】 分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。		○	○	7
合計										78
			21	78	72					